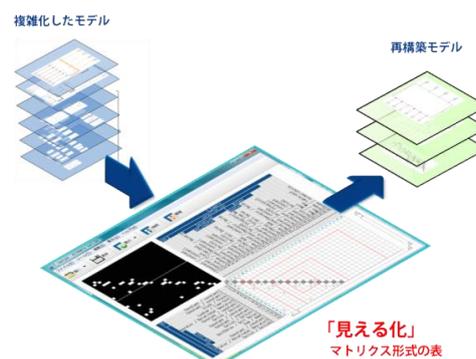


2015年8月3日
AZAPA 株式会社

モデルベース開発サポートツール アザムス ドループ 「AZMS-DRUPE」提供開始 ～無料体験版(3ヶ月)をご用意～

AZAPA 株式会社(名古屋市中区、近藤康弘社長)は、自動車のエンジン制御をはじめとするパワートレイン分野でモデルベース開発(以下、MB 開発)へ先駆的に取り組み、これまで国内自動車メーカーにおいて、自動車の「新たな付加価値の提案」と「開発プロセスの高効率化」に貢献してきました。こうした技術的知見を背景に、自動車の機能安全規格「ISO26262」(*1)の要求にも適合した複雑な MB 開発の支援パッケージツール「AZMS-DRUPE」(以下、AZMS)の提供を開始します。

AZMS は自動車開発の制御開発において、要求設計から仕様設計までの MB 開発を独自のアルゴリズムでサポートし、制御モデルの開発効率化やモデル全体の構造最適化を実現するツールです。特に、パッケージに含まれる「AI-Matrix」は、自動車のソフトウェア開発の使用性と保守性を向上させられるツールで、自動車業界全体で取り組んでいる「ISO26262」の要求にも適合することから、社会が求める自動車の安全性向上に貢献できると考えております。



【AI-Matrix 機能イメージ図】

(*1) ISO26262：車載電子向けの機能安全規格。直接的な開発対象となる電子システムに限らず、システムを構成する環境などの要素も含めた安全性を要求している。MB 開発によるシミュレーション技術はその一助になるとして期待が高まっている

■AI-Matrix ～Simulink モデル解析ツール～

AI-Matrix は、マトリックス形式(DSM)を使って、Simulink の制御モデルの構造を「見える化」し、「評価」も行うなど、構造最適化を実現するツールです。制御モデルの保守性やモデルに対する理解性の向上につなげます。

[機能1：モデル構造の定量評価]

制御モデルの構造を、AZAPA の構造指標を使って分析し、DSM やレーダーチャートに表すことで、定量的にモデル構造の良し悪しを判断することができるようになります。そのため、人に依存した品質のばらつきを抑えることができます。

[機能2：参照先・影響先探索]

モデルの変更部分の参照先や影響先を簡単に探索することができ、影響分析や問題解決時の範囲を容易に検索することが可能です。

■AI-Modeler ～Simulink 構築補助ツール～

AI-Modeler とは、C コードを自動で Simulink モデルにするツールです。MB 開発の導入までスムーズに導きます。

[機能1：C コード自動モデル変換機能]

C コードをもとに Simulink モデルを自動構築するため、ブロックを1つ1つ繋げる手間が大幅に削減できます。

[機能2：ブロック配置最適化]

Simulink モデルのブロック配置は、作業者の趣向により異なり、システム全体としては、統一感がなくなりがちです。AZAPA が独自に開発した最適化手法では、普遍的な自動配置ルールを実現し、統一感のあるブロック配置を実現できます。

[機能3：定数ファイル自動変換機能]

定数が定義された C ソースから、MATLAB で実行できる定数ファイル（スクリプトファイル=.m ファイル）に自動変換することができます。

上記2つのツール以外にも、モデルの計算負荷分析ツールや Simulink 用差分解析ツールと
いった便利なツールをご用意しております。

▼AZMS ページ

<http://www.azapa.co.jp/azms/index.html>

▼AZMS 無料体験版(有効期限3ヶ月)の申し込みはこちらから

<http://www.azapa.co.jp/azms/download/index.html>

▼AZAPA ホームページ

<http://www.azapa.co.jp/>

<リリースに関する問い合わせ先>

AZAPA 株式会社

名古屋市中区丸の内 2 丁目 14-20 THE SQUARE10F

コーポレート部 林

Email : azp-corp@azapa.co.jp

TEL : 052-221-7350 FAX : 052-221-7351